

事故ゼロプランの取り組みにおける整備事例【国道1号 検町北交差点】

交通安全

静岡県

一般国道1号 検町北交差点

平成29年 2月完成

【検町北交差点における対策内容】

Plan 対策内容

国道1号検町北交差点(富士市田中新田)では、追突事故が多発していたことから、走行性の良い国道1号の速度抑制および追突事故への注意喚起対策を実施し、H29.2.27に完成。

対策1: 看板の設置
目的: 前方車両への注意を促し、追突事故を抑制する。

対策2: 路面標示(文字)の設置
目的: 前方車両への注意を促し、追突事故を抑制する。

対策3: 路面標示(カラー)の設置
目的: 交差点の存在を知らせることで、前方に対する注意を喚起する。

Do 現地状況

対策前: H27.11.25 → **対策後: H29.3.3**

■対策3: 路面標示(カラー)のみの設置

■対策1: 看板の設置

■対策2: 路面標示(文字)の設置

Check 整備効果

事故件数による評価は、時間を要することから、交通挙動やビッグデータ、利用者意見等により効果を確認。

交通挙動に基づく効果	ビッグデータに基づく効果	利用者目線に基づく効果
<p>■注意喚起対策により車間時間が拡大</p> <p>●対策前、4割を占めていた車間時間3秒未満の車両がほぼ解消し、追突のリスクが大幅に低減。</p> <p>▲ 車間時間の変化</p>	<p>■交差点手前の急ブレーキが減少</p> <p>●速度抑制及び追突事故への注意喚起をした結果、交差点停止線直前の急ブレーキの発生が大幅に減少。(特に上り側(東京方面)で)</p> <p>▲ 車間時間のETC2.0による急ブレーキ発生率の変化</p>	<p>■利用者の約半数が安全になったと実感</p> <p>●検町北交差点を日常的に利用するドライバーを対象としたアンケート調査によると、5割の方が「かなり安全になった」、「まあまあ安全になった」と評価。</p> <p>▲ 利用者の評価(WEBアンケート調査結果)</p>

Act 事故データの蓄積後、事故件数による評価を実施。2年後・4年後の中間評価により、追加対策の検討を行う。